

# 2 年生活科「こんなことしたよ昭和きねん公園」

八王子市立館小学校 2 年担任 藤井敏晴

e-mail アドレス toto\_21@ka2.so-net.ne.jp

## 1. 始めに

八王子は東京の西部にある人口 60 万の地方都市です。住宅地と畑、山などもある地域です。市の中に小学校約 70 校中学校が約 30 校あります。八王子市立館小学校は、その八王子市の西部に位置し JR 高尾駅から約 2、3 Km の所に学区域が有り、3 分の 2 が団地、3 分の 1 が住宅地です。地域の少子化傾向に伴い 2002 年 4 月に旧殿入り小と上館小が統廃合されてできました。現在 10 クラス、児童数約 260 名の学校です。

市の学校 PC の配置状況は、文科省の 6 力年計画が「財政難」から 9 力年の時間を要し、2002 年に小学校 22 台配置を終えました。PC は、97 年の殿入りと 98 年の上館小の 22 台合計 44 台を有します。ただ、PC 自体は Win 95 をアップした 98 のレベルです。関連する他の機器も同じレベルの環境です。児童の機械の HDD は 2 GB です。

## 2. 取り組みのねらいと背景

小学校ではパソコンの時間という教科はないが、指導要領では、「総合的な学習の時間や各教科、領域」で積極的に使用していくことになっている。1, 2 年生の生活科では、特に体験学習を重視するとともに、様々な手だてを通して、思いを「表現」することが重要なこととされていて、生活科のねらいが持っている「自立」と言うことから言っても、情報機器を利用した今回の取り組みは、注目に値するのではないだろうか。この取り組みの概略は、以下の様である。

2 年生の子どもたちが班を作って自分たちの手でバスの切符を買ったり、電車の切符を買って、バス・電車に乗り、乗り換え、JR 西立川の「昭和きねん公園」まで行く。現地では、楽しく遊んだり、自然の事物をスケッチしたりする。そして、それら全体の行動をデジカメで記録して、後で、発表用のファイルにまとめ、「こんなことしたよ昭和記念公園」として学習発表会で発表する。

この取り組みの中で、生活科のねらいとしていることの幾つかと、情報機器に慣れ親しみ積極的に使っていこうとする「小学校の情報教育」のねらいとが達成されることを目指す。

ややもすると、「パソコンは高学年でやるんじゃないの」とか「総合じゃないの」とか、誤解を受けたまま低学年(1, 2 年生)の担任には顧みられないことがあり、またせいぜい、お絵かきソフトに触らせたり、年賀状ソフトを少しいじらせるだけだったりとかの傾向が見られる。

そういったとき、こんなパソコンの使い方もある、低学年でもこんなことができるよ、と新しい単元のあり方を考えてみたい。

写真 A パソコン室での 2 年生



## 3. 授業(活動)の経過

本単元の経過	情報機器関連 ( ) 数字は パソコン室を使ったり、教室のパソコンを利用したりした授業のおよその時数。
--------	--

7月実地踏査

事前の取り組みと学習

9月オリエンテ-リング(導入)

取り組みのための役割を決める

児童の班作り、班の役割決め

- 例 1班 . 行きの経路での取材  
学校からバス停まで  
バスに乗るところ  
バスの中 電車の中  
その他
- 2班 . 公園でのスケッチ活動  
の取材
- 3班 . お弁当の場面の取材
- 4班 . 自由あそびの場面の取  
材
- 5班 . 帰りの経路での取材

班の中の係決め

例 デジカメ係

当日カメラ係スナップを一人  
20枚くらい撮る。インスト  
-ル

パソコン係

ファイルの表紙作り 練習の  
ときのパソコンの操作 機械  
類の運搬。(組み立て)当日  
のパソコンの操作

作文がかり

取り組みの作文は全員に書か  
せたが、とりわけこの係は、  
発表会当日のメインの作文と  
して取り組ませた。

発表係

プロジェクタ-を通したプレ  
ゼン用ファイルの説明、及び  
司会役

保護者への協力以来(看護当番)

バス停、改札 ホ-ム

機器(デジカメ)の使い方の学習

(復習)

バス、電車、条項についての事前指導

9月30日 取り組み当日

4月デジカメ 印刷 ゲーム (2)

5月運動会 (ネットスケ-プ) (3)  
ひらがな ATOK

9月算数図形の学習に (1)

9月昭和きねん公園の取り組み (4)

デジカメ

ファイル作り

10月発表のための練習 (2)

11月発表会

11月算数九九の学習 (1)

12月一太郎スマイルで年賀状 (2)

1月ゲームであそぶ (2)

2月ス-パ-ユキでメ-ルごっこ (1)

この他、印刷やゲ-ム、デジカメの扱い、  
パソコン室の使い方などで数時間。

写真B 表紙 2年児童作成表紙



写真C 公園 2年児童撮影



(昭和きねん公園へ)

8時15分学校集合  
8時30分学校出発(班毎に)  
9時ころ JR高尾駅 そして  
立川駅 経由 西立川駅  
10時ころ昭和きねん公園着  
10時30分 スケッチ活動  
11時30分 お弁当  
12時30分 自由あそび  
13時30分 昭和きねん公園発  
帰りも切符は自分で購入させたが、  
行動は学級学年でそろえた。(引率)

14時30分ころ学校帰着

10月 PCへの取り込み  
画像の選択 表現への意欲  
ファイル作り 目次 編集  
作文作り 発表原稿作り

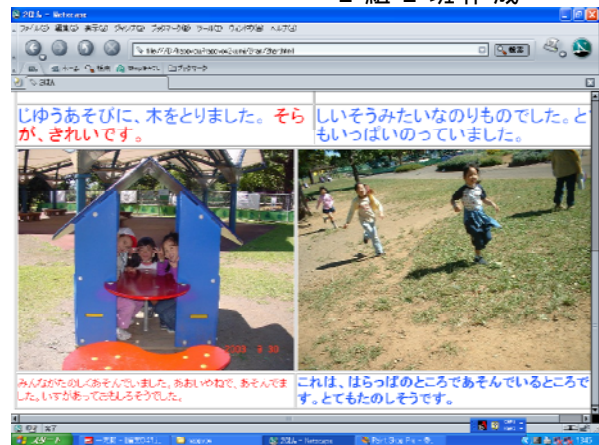
11月発表のための練習

発表を「多目的室」で行うため、練習もそこでいった。この多目的室は、広さ3教室分ほど 地域開放用に作られていて、音響施設の他、200インチほどのスクリーンを備えている。

写真D 公園でスケッチをしている



写真E 作成したファイルの一部  
2組2班作成



4, 学習発表会の日

発表本番は(11/14)1クラス15から20分ほどで、1組・2組が交替で行う。その対の時間には、ポップコンの実演販売を行う。写真Fは、2班の発表係が取材内容の説明(発表)を行っているところ。

5, 情報教育機器の利用について

学習への利用は当たり前になってきた。取り組みの多様な展開を図ってくれる頼もしい存在。記録として 表現方法として 楽しみとして 鉛筆、消しゴムのように簡単に扱えるようになってほしい。

6, まとめとこれからの展望

まだ、今回の取り組みのためには、1時間の授業に数時間の準備が必要なこともあった。

写真F 発表会の1場面





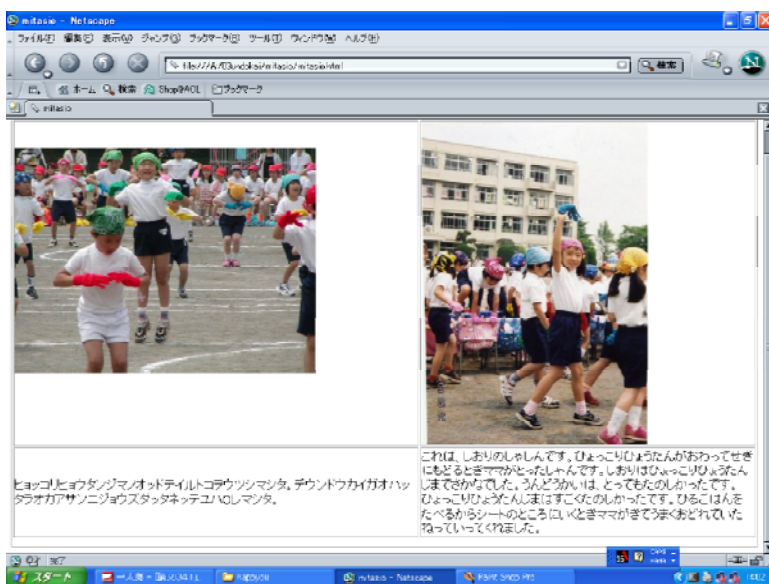
それは「低学年だから」という理由ではない。PCのHDDが2GBで、立ち上がりが遅く、フリズしたときの挽回に時間を掛けなければならないこと、アプリケーションの動きが遅いこと、予算の都合で、デジカメをまとめて買わなかったため、3機種の使用法を児童に教えながら授業を展開せざるを得なかった為等々、ほとんどの場合「予算」「条件整備」の問題である。これらが十分であったなら、今回のこの授業準備の為の教師の時間は、三分の一程度に減るのではなかろうか。だとするなら、教師はもっと新しい単元、創意のある単元を開発しようとする意欲を持つはずだ。そしてためらっている多くの先生方が、パソコン室を気楽に使うようになるであろう。

## 2年生児童のファイル作りの発展段階



‡ (1) 模造紙を使って

4, 5月学校のデジカメに初めて触る。一人一回シャッターを押す。パソコン室の印刷機も使ってみる。何の写真かな、説明も付ける。(5月作成)



(2) 運動会

運動会は自分で写真を撮れないので、家の方の協力で自慢の一枚を使わせてもらった。この段階ではスキャナ - の取り込み、ネットスケ - プの枠作り、画像の貼り付けなどは担任が行っており、一太郎スマイルのひらがな板を使って、自分の気持ちを書き込む。1ページに2人、13, 14台のPC使用。(7月作成)



(3) 学習発表会用ファイル

‡ デジカメどり、PCへのインストール、ネットスケ - プの起動、画像の選択、画像の貼り付け、書き込みなど子どもたちが主体的に行う。班ごとに4枚の写真を一枚のファイルとして作成する。使用ソフトはネットスケ - プコンポザ -。(10月作成)これらのファイルは、現在「館小学校」の公式ホ - ムページの「2年の部屋」に載っています。館小学校HPのURL

www.edu.city.hachioji.tokyo.jp/  
school/tatee